

 こおりまち

議会だより

平成28年冬号 VOL.103



12月定例会 ②

卒園後の小学校教育への連携は
(一般質問・7名登壇) ⑤

イノシシ侵入防止柵
睦合モデル地区現地見学 ⑬



希望の輝き

12月定例会



平成27年12月定例会は、12月8日から12月14日まで、7日間の会期で開催された。
条例制定1件、条例改正3件、補正予算4件、選挙管理委員選挙、財産の取得、陳情1件、発委(意見書)1件の計12件が提案され、すべて原案通り可決された。

条例制定

町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

討論

反対 岩崎久男議員

マイナンバー制度について10月以降市町村から「通知カード」が郵送されているが、受取人不在で自治体に返送された「カード」500万通を超え自治体は対応に苦慮しているのが現状です。身分証明以外に殆んど使い道はなく、紛失すると個人情報情報が漏れるリスクがきわめて高いカードであり、申請は任意で強制ではありません。政府は民間分野への利用拡大も考えていますが、マイナンバーの差しとめの裁判が提訴されるなど、国民の不安は広がるばかりです。1月実施を延期して、制度の危険性を検証し廃止に向けて見直すべきです。このことを指摘し反対と致します。

条例改正

町税条例等の一部改正
地方税法等の一部改正に伴う改正。

平成28年3月31日から5年延長
町東日本大震災復興交付金基金条例の一部改正
復興交付金事業計画期間が延長されたことに伴う改正。

町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正

福島県ひとり親家庭医療費助成事業補助金交付要綱の一部及び引用する法律名の改正に伴う改正。

「あんぼ柿」をブランド品に
近代化施設を梁川に新設

補正予算

一般会計(第7号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,554万6千円を追加し、予算の総額を83億9,010万

選挙

選挙管理委員及び同補充員の選挙
平成28年1月23日任期満了を迎えることから、次の者を指名推薦した。

氏名	生年月日	住所
関根 勉	昭和22年7月7日	桑折町大字松原字堂ノ前17番地
平井 吉衛	昭和24年9月14日	桑折町大字上郡字常水14番地
高橋 貢	昭和25年12月29日	桑折町大字北半田字古館2番地の1
國分美知子	昭和25年9月18日	桑折町字和尚堂8番地の3

氏名	生年月日	住所
岡崎 忠一	昭和23年4月16日	桑折町大字伊達崎字中屋敷16番地
國分英利生	昭和24年12月31日	桑折町大字松原字川原18番地
遠藤 友子	昭和24年12月24日	桑折町大字谷地字添8番地の2
山室 芳子	昭和26年12月4日	桑折町字西段4番地の1

陳情審査結果

公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情

〔陳情者〕

福島県福島市上浜町10-38
福島県教職員組合
中央執行委員長 角田 政志
福島県伊達市保原町字旭町32
福島県教職員組合伊達支部 支部長 酒井 克幸

〔審査委員会〕

総務文教常任委員会
〔審査の結果〕 採 択

災害公営住宅完成予定は平成28年末

財産の取得

1. 財産の種類 土地
2. 所在 福島県伊達郡桑折町字東段30番地の6 他1筆
3. 地目 宅地
4. 地積 11,520・15㎡
5. 取得金額 1億1,893万4,028円
6. 取得の目的 災害公営住宅建設用地
7. 契約の相手方 住所 福島市五老内町3番1号 氏名 福島地方土地開発公社 桑折町理事 熊谷 孔隆



国民健康保険特別会計(事業勘定)(第2号)	(主なもの)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ302万円を追加し、予算総額を17億1,503万2千円とするもの。	▲水道使用料 625万円 ▲加入金 81万円 ・東京電力賠償金等の雑収益 2,187万9千円
《歳入》	・県支出金 134万円 ・繰入金 168万円
《歳出》	・保険給付費 252万円 ・諸支出金 50万円
介護保険特別会計(保険事業勘定)(第3号)	歳入歳出予算の総額からそれぞれ26万7千円減額し、予算総額を14億5,271万4千円とするもの。
《歳入》	・国庫支出金 1千円 ・県支出金 1千円 ▲繰入金 26万9千円
《歳出》	・地方支援事業費 3千円 ▲総務費 27万円
水道事業会計(第1号)	収益的収入 81万4千円 1,476万8千円を増額し、総額を3億9,400万3千円とするもの。 ▲委託料 538万円 ・工事請負費 538万円 (※・印は増額▲印は減額を表します)



佐藤 栄三 議員

卒園後の小学校教育への連携は 各学校でのきめ細やかな取組で



— 活かせ園舎 —

問 平成29年度には幼稚園が統合される。統合による各幼稚園の空き園舎利活用と、統合幼稚園卒園後の各小学校の教育への連携方針について、子供も保護者も今までの進級の状況と大きく環境が変わると思うが、それに対してどの様な対応を考えているものか伺う。

答 町長 空き園舎については、従来同様に放課後児童保育施設として活用して行く。また老朽施設は解体整地し、活用できる施設については、「まち、ひと、しごと創生総合戦略」を視野に就農支援施設等として活用して

行く。
児童の教育については、入学予定の小学校毎に園児と児童の交流活動や体験入学等により安心して小学校に入学できるものと思う。保護者についても保護者同士が集まる機会も色々有り、相互の関係作りも促進できると考える。入学後については、各小学校できめ細やかな対応をし児童保護者が学習やPTA活動に取組める様にしていく。

問 高齢化社会に伴い、移動弱者がますます増加してくる。車の便利さになれている私たちであるが、いずれは自動車の運転が出来なくなるときが来る。その時「お出かけ」をする手段がなくなってしまうように、公共交通の機能を確保しておくべきと思う。そのために「桑折町地域公共交通検討会」を設け今

デマンドタクシーが必要では 福祉タクシー券で対応継続を

から検討すべきと思うが町長の所見を伺う。
答 町長 デマンドタクシーについては以前に検討した経緯があったが事業者の確保に至らなかったで福祉タクシー券での対応を図って来た。
「検討会設置については現在考えていない。」

これも 質問

問 農業振興地域整備計画の見直しは
答 相馬福島道の進捗状況を見極めて
問 とり落している所の確認と除染は
答 幹線道路の除染を進めながら検討

一般質問

ズバリ町政を問う60分

7名登壇

○一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
○内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
○質問項目は、通告によるものです。

登壇議員	質問項目
佐藤 栄三	・「農業振興地域整備計画の見直し」について ・幼稚園統合による各地区幼稚園の空き園舎活用と卒園後の小学校教育への連携方針について ・除染作業の進捗状況について ・高齢化社会への公共交通確保について
佐藤 武朗	・土砂災害警戒区域の防災対応について ・町の施設、備品等の取り扱いについて ・雇用促進住宅「桑折宿舍」の取得について ・町の表彰規定について
羽根田 八千代	・マイナンバー法施行に伴う詐欺被害の拡大対策について ・町制60周年「復興こおり、記念事業の評価と28年度予算編成への関連について ・「再生可能エネルギー推進の町宣言」にふさわしい行動計画は ・「地域包括ケアシステム」の実現に向けた進捗状況は ・人農地プランの進捗状況に対する町長の所見は
齋藤 松夫	・憲法違反の戦争法案（安保法制）への見解表明について ・有害鳥獣対策における「侵入防止柵」設置のあり方について ・気候変動と防災対策について ・桑折町生活雑排水処理基本計画の推進について ・うぶかの郷源泉枯渇対策について ・果樹改植事業の継続について
川名 静子	・桑折町まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」（案）による人口減少対策に関して ・「確かな学力」「子どもの体力」向上に関して ・ごみ減量化に関して
斉藤 謙	・大割東仮置場等の進捗状況に関して ・仮置場の賃貸契約の延長等に関して ・いじめ問題等に関して ・平成27年度全国学力テストの実施結果等に関して ・健全な財政運営等に関して ・地域公共交通確保維持改善事業等に関して
岩崎 久男	・東京電力に対する損害賠償請求について ・子育て世代に経済的支援策について ・TPP交渉大筋合意について



川名 静子 議員

人口一万人を維持する方策はなに 53 の新規拡充事業を進める中で

問 以前から、雇用促進住宅「桑折宿舎」を取得する方向での答弁を聞いておりますが次の点を伺う。

(1) 取得に向けての進捗状況は。

(2) 取得後の利用計画は。

(3) 昭和57年に竣工した当該施設の耐久性等の検証は。

答 町長 (1) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構に売却申請を提出し合意に達している。同支援機構より、2社

目の土地建物の鑑定評価を受け、譲渡予定価格の提示を受けた。(2) 主に働く若者・子育て世代を対象に、当町の立地の良さを活かした低廉な家賃設定による町営住宅として提供し、人口の流出防止・定住促進を図る。(3) 「新耐震基準」導入前の旧基準によつて設計されたものであるが、同機構では、平成26年4月に耐震診断を行っており、十分な耐久性があると判断された。

問 人口減少は本町ばかりか全国的な問題である。20年後の桑折の人口は一万人を下回ると予測、その速さも測れない。今年7月のアンケート結果では、「未婚者の75%が結婚したい」や「町内での働く場がない」「理想とする子供の数は2〜3人」等々。課題は見えている。今的確な施策を集中して持続的に取り組む必要があることから次の点を伺う。

(1) 庁内本部会議での具体的な方策と取り組み状況は。

(2) アンケート調査結果の分析、課題と方策は特に「出産・子育て」「定住に対する意向」の回答をどう捉え対処するのか。

(3) 一般企業等で働く多くの女性たちの就労環境を整えること(例・男女共同参画推進条例の制度等)も「出産・子育て」の応援と考える。

問 町内から搬出された「ごみ」は焼却炉へ運ばれるが処理料は「ごみの重さ」により町が負担。つまり税金なのだ。分別により負担金軽減になればと婦人会は「ごみ減量化」に取り組んだ。が、高齢社会に伴い「紙おむつ」処理という新たな問題が浮上、使用済みは3倍の重さ・体積となる。それをリサイクルし燃料化する事例がでてきたことから伺う。

答 町長 現状を知らなかった。事業系の「ごみ」の量が伸びているのも事実だ。これからの課題としたい。現在は可燃ごみとして焼却処理をしている。

使用済み「紙おむつ」の資源化は 考えはないが今後の課題としたい



— 実行あるのみ —

維持管理費が課題ではないか 戦略の一環としての取得を考える



— 人口増につながれば —



佐藤 武朗 議員

問 以前から、雇用促進住宅「桑折宿舎」を取得する方向での答弁を聞いておりますが次の点を伺う。

(1) 取得に向けての進捗状況は。

(2) 取得後の利用計画は。

(3) 昭和57年に竣工した当該施設の耐久性等の検証は。

答 町長 (1) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構に売却申請を提出し合意に達している。同支援機構より、2社

目の土地建物の鑑定評価を受け、譲渡予定価格の提示を受けた。(2) 主に働く若者・子育て世代を対象に、当町の立地の良さを活かした低廉な家賃設定による町営住宅として提供し、人口の流出防止・定住促進を図る。(3) 「新耐震基準」導入前の旧基準によつて設計されたものであるが、同機構では、平成26年4月に耐震診断を行っており、十分な耐久性があると判断された。

旧郡役所、おいに活用すべきでは 「歴史と文化」にふさわしい事業に

問 震災からの復興と歴史・文化を活かした町づくりを目指しているが、町の施設、備品等の取り扱いについて次の点を伺う。

(1) 旧郡役所の利用、貸し出しについて、また、当該施設の活用はどのように考えるか。

(2) 旧中央公民館に置いてあった「グランドピアノ」を多目的スタジオ「イコーゼ」で活用しては。

(3) 駅前駐車場の利用方法については、公平性の観点から改善

が必要ではないか。

答 町長 (1) 貸出については、教育委員会を取りまとめた「利活用に関する申し合わせ事項」に基づいて、また、歴史と文化のまちにふさわしい事業に、大いに利活用する。(2) 「イコーゼ」には寄贈されるアップライトピアノを配置。グランドピアノについては、活用策を検討していく。(3) 検討はするが、改善は難しい。

これも 質 問

問 土砂災害警戒区域を対象にした今後の対応は

答 土砂災害時の避難判断基準に基づいて対応する

問 町の表彰制度基準の一部見直しが必要では

答 時代の要求するものへの適正の観点から検討していく

これも 質 問

問 ノーTV、ノーゲーム日は可能か

答 解決には町ぐるみの運動でできたら



羽根田八千代 議員

町制 60 周年記念事業評価と関連予算は 「満福まつり」・「在京桑折会」を継続



— 桑折大好き —

問 27年度の重点施策である記念事業について次の点を伺う。
(1) 記念事業を推進した結果、町民意識の効果と評価は。
(2) 「在京桑折会」は、ふるさと桑折の現況を知って頂き、さらなる支援をお願いすべく開催された。記念品に同封したふるさと納税礼品に今後、うぶかの郷宿泊券・イコーゼ年間利用券等も検討し交流人口増を図れないか。更には、同日上映された「物置のピアノ」ヒロインと「ロケ地を巡る旅」を

地方創生事業として企画してはどうか。
答 町長 (3) 今後、継続していく事業と予算編成への関連は。
答 町長 (1) 郷土への誇りや愛着心、親近感を高めていただく契機となり、節目の年にふさわしい一年になった。(2) なかなかいい提案だ。映画上映とセットで検討する。(3) 満福まつりは三年間サポート事業で開催。「在京桑折会」は地元企業様と参画していく。



岩崎久男 議員

子育て世代に経済的支援策を まち、ひと、しごと創生総合戦略で検討



— 元気が一番 —

問 町民アンケートで「子育てのためにどのような施策を行政に期待しますか」との質問における経済的支援が最も多く、この声に応えて次の点を伺う。
(1) 幼稚園給食費無料制度を、さらに拡充し、小中学生のすべての児童生徒の学校給食に対して当面3分の1補助制度を確立し、県の市町村への支援を引き出し学校給食費の完全無料を目指すべきと考えるが。
(2) 保育料、幼稚園授業料は、第二子は半額、第三子は全額補助が行われている。この制度

をさらに拡充すべきと思うが。
答 町長 (1) 子育て世帯に対する経済的支援は「桑折町まち、ひと、しごと創生総合戦略」の中で学校給食のあり方も含めて検討する。(2) 多子世帯における保護者の経済的負担のなお一層の軽減を図るため、年齢の上限枠を設定しない方向で拡充したいと考えている。

TPP大筋合意は撤回を 国会決議は厳守すべきである

問 政府の「総合なTPP関連政策大綱」は署名も国会審議も行われていない。臨時国会の開催も拒否し、秘密交渉による大筋合意の経過も詳細も明らかにせずTPP関連政策大綱によつて、国民の不安の払拭を図ろうとしていること自体、多国籍企業の利益を最優先し、国内産業や国民生活を害することを示している。農家や国民の懸念や不安を解消するのではなく、桑折町の農業の将来を考えれば

「大筋合意」は撤回を求め批准はすべきでないと考えるが所見を伺う。
答 町長 県町村会は基幹産業である農林水産業と食料供給、水資源涵養など重要な役割を果たしている。農山漁村が将来にわたり持続的に発展していけるよう、万全の対策を講じるよう強く要請したところである。県選出国会議員に要請書を平成27年10月27日に提出した。

これも質問

問 東京電力に対する損害賠償は
答 県がリーダーシップを発揮するよう

要望する

再生可能エネルギー推進行動計画は 情報を参考にしながら協議

問 フランス・パリで、気候変動枠組条約(COP21)が開催され、日本は2030年度に2013年比で温室効果ガスを26%削減する約束草案を提出している。なかでも、私たちの暮らしに関係する家庭部門CO2については約40%の削減目標を掲げている。地球温暖化はまさに、そこに住むひとりひとりの地球規模の課題だ。そこで、今年度「再生可能エネルギー推進の町宣言」をした本町の具体策を伺

う。
(1) ビジョン作成は。
(2) 太陽光発電事業の補助額を近隣市町と同額にする考えは。
(3) 「地球温暖化防止活動推進センター」の情報を収集し、中小企業や町民の関心と理解を高めるべきではないか。
答 町長 (1) 年度内作成する。(2) 公平性等を踏まえ検討する。(3) 紹介いただいた情報を参考にしながら協議する。

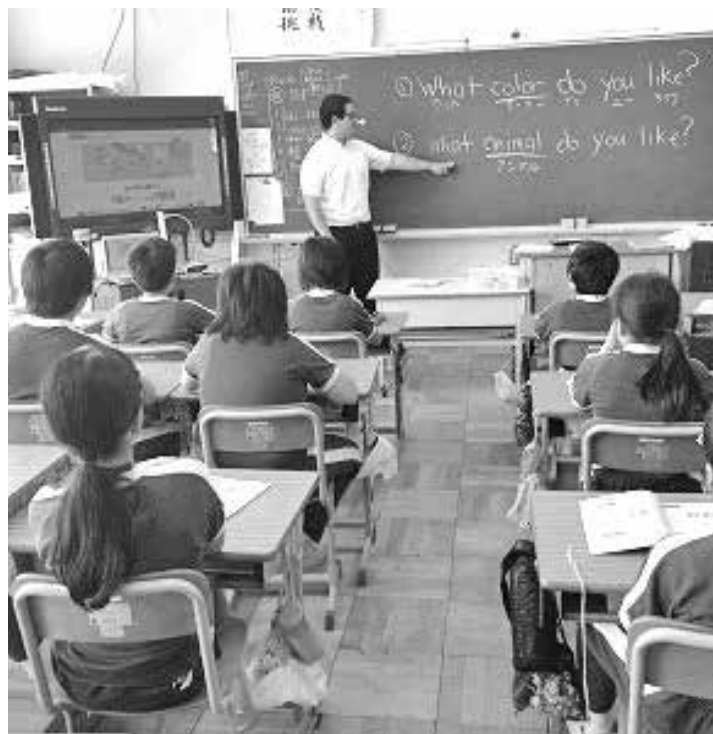
これも質問

問 マイナンバー法について説明会開催を
答 1月中には、全町民対象に開催する
問 地域包括ケアシステムの構築は
答 先進地事例調査や協議体の設置等を支援
問 人農地プラン遅れていないか
答 町が積極的に支援し、早期策定を目指す



斉藤 謙 議員

教育の町づくりに教育特区申請を 実施中の施策で改善努力したい



— 君たちが頼りだ —

問

(1) 27年度学力テスト結果は県平均以下の教科が増えているが、今後の課題・対策は何か。

を確実に身に付けさせる点で不十分な面があったこと、算数・数学の活用能力を計画的により伸ばしていく工夫が足りなかった。対応策として教員の指導力向上に向けた研修、また、各学校・PTA等との連携による共通実践事項の推進等の実施などこれまで以上に力を入れて行っている。(2)管内では、いじめ4件、不登校4名。保護者用チェックシートに関して検討したい。教育特区の件は、現在取り組んでいる施策に一丸となつて改善努力していきたい。

答

(1) 児童に学習内容

を確実に身に付けさせる点で不十分な面があったこと、算数・数学の活用能力を計画的により伸ばしていく工夫が足りなかった。対応策として教員の指導力向上に向けた研修、また、各学校・PTA等との連携による共通実践事項の推進等の実施などこれまで以上に力を入れて行っている。(2)管内では、いじめ4件、不登校4名。保護者用チェックシートに関して検討したい。教育特区の件は、現在取り組んでいる施策に一丸となつて改善努力していきたい。

これも 質 問

問

町民へ一部事務組合等の状況報告を
連結決算は28年度から広報等で公表

問

財務4表等の作成時期はいつか
平成28年度決算から作成する

問

堰向工業団地の損失補償契約書は
損失補償契約は行っていない

バス運行で高齢者の足の確保を 財政的負担等により導入しない

問

公共交通活性化再生法の改正により、市町村が主体的に組織することが努力義務とされたが、当町でも多くの高齢者から日常の足としてバス運行の要望が多いが、地方創生や歴まちづくり等での交流人口が多くなること
が予想され、将来を見据えた先

行投資として取り組む考えはないか。

去に実証実験を行った結果、財政的な負担と利活用に大きな格差が生じて費用対効果が低いことから、現時点では導入を考

ていない。

侵入防止柵設置で4つを提案する 真摯に受けとめて参りたい



— 待たれる復旧 —



齋藤 松夫 議員

問

国見町小坂地区で有害鳥獣侵入防止柵の設置がされた。よつて桑折町での設置も急務となった。速やかに①町内の北端から南端まで、全線設置の方針確立、②関係者との協議でルートを決定、③町施工と地元施工との区分、④予算化・実行にすむべきである。

交付金要望額はいかほどか。
町長 現在、上成田地区で「モデル事業」として取り組んでいた。その結果を検証し、すすめてまいりたい。議員ご提案の①から④については真摯に受けとめて参りたい。
来年度交付金は延長7キロメートル、700万円を要望しているところだ。

問

半田沼下流の宮沢地区で、南半田幹線水路と道路の一部が9月豪雨で崩壊した。このよう

は、国の補助事業で対処しているが、来年の用水確保は仮設水路で対応することになる。水路全線の暗渠化については山側斜面の流水の処理において危険性が伴うので、考えていない。

これも 質 問

問

戦争廃止のための国民連合政府への所見は
国会での廃止議決と閣議決定撤回が必要

問

うぶかの郷の源泉枯渇対策のための調査結果は
大かや園源泉を調査し総合的に判断

問

果樹改植事業の継続要望に対してはどうするか
果樹改植事業の事業継続を要望している

半田・宮沢地区道水路崩壊対策は 補助事業で復旧 暗渠化はできぬ

臨時会

「イコーゼ」に
室内遊具の備品取得

第12回、11／16（月）

財産の取得1件について、原案通り可決した。

- 1. 買入物件
屋内遊具等備品
- 2. 契約の相手方
住所 宮城県仙台市泉区明通3丁目30番地
氏名 凸版印刷株式会社
東日本事業本部
専務取締役
東日本事業本部長
伊東 厚
- 3. 契約の方法
随意契約
- 4. 買入価格
2, 424万6千円
(うち消費税及び地方消費税額179万6千円)

「イコーゼ」の駐車場や
防球フェンス設置

第14回、12／28（月）

工事請負契約1件、一般会計補正予算1件の計2件が提出され原案通り全会一致で可決した。

意見書

加など、学校現場が抱える課題は多様化している。保護者からのきめ細やかな指導を求める要望も大きくなっている。今後も、子どもたち一人ひとりに対応した教育を推進し、保護者をはじめとする地域住民からのニーズに応えるためにも、教職員数の充実・確保を図ることが必要である。
このような理由から、下記の事項の実現について、地方自治法第99条にもとづき、意見書を提出する。

1. 子どもたちへのきめ細やかな指導を維持・向上させるために、公立小中学校の教職員数は、多様な教育課題や地域のニーズに応じた確固たる教育活動を行うために必要な教職員数を戦略的に充実・確保すること。

平成27年12月14日

内閣総理大臣 殿
文部科学大臣 殿
財務大臣 殿

福島県伊達郡桑折町議会

公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書

福島県の学校教育は、地域社会の多様な変化に応じながら、一人ひとりの子どもへのきめ細やかな対応や、子どもたちが主体となるゆたかな学びの推進が求められている。

特に東日本大震災・原子力災害の発生以降、「新生ふくしま」をめざし、学校、保護者、地域そして子どもたちが復興・再生に向け邁進している。

10月26日に、財政制度等審議会は「現在の教職員環境を継続させながら、教職員定数を3万7千人減らせる」とする「教職員定数のベースライン（案）」を公表した。

本案に対し、中央教育審議会は異例の緊急提言を行い「教職員定数の機械的な削減ではなく、多様な教育課題や地域のニーズに応じた確固たる教育活動を行うために必要な教職員数を戦略的に充実・確保すべきである」との見解を明らかにした。

現在、公立小中学校では、授業だけでなく生活指導・進路指導など様々な個別指導を行い、その比重は増している。また、特別な支援を必要とする子どもの増

議会活動状況報告 平成27年9月定例会以降

年	月	日	活 動 状 況	内 容	出 席 者
27	9	25	例月出納検査	定例検査	選 出 委 員
10	9	議会運営委員会	第10回臨時会議事日程等	選 出 委 員	全 議 員
		議会全員協議会 第10回臨時会本会議	第10回臨時会議事日程等 桑折町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例、平成27年度桑折町一般会計補正予算（第6号）	全 議 員	
14		議会全員協議会 第11回臨時会本会議	第11回臨時会議事日程等 外 桑折町議会議長選挙、副議長選挙、議会常任委員会委員の選任、議会議長の常任委員会委員の辞退、議会広報委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、福島地方水道用供水供給企業団議会議員の選挙、公立藤田病院組合議会議員の選挙、伊達地方衛生処理組合議会議員の選挙、伊達地方消防組合議会議員の選挙、桑折町監査委員の選任	全 議 員	全 議 員
		議会広報委員会 21 議会全員協議会	議会だより秋号の編集 桑折町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の主な予定事業（素案）について 外	選 出 委 員 全 議 員	
22		総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 福島県町村議会議員研修会	閉会中の所管事務調査申出事項について 閉会中の所管事務調査申出事項について 講演「人口減少社会の自治体議会」 講師 東京大学大学院教授 金井 利之氏 「今後の政局・政治展望」 講師 日本大学法学部教授 岩井 奉信氏	選 出 委 員 選 出 委 員 議 長 外	
		伊達地方消防組合議会議員協議会 平成27年第2回伊達地方消防組合議会定例会	議事日程、議案内容等の説明 副議長選挙、平成26年度伊達地方消防組合一般会計歳入歳出決算の認定、伊達地方消防組合職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例、工事請負変更契約の締結	選 出 議 員 選 出 議 員	
26		伊達地方衛生処理組合議会議員協議会 平成27年第2回伊達地方衛生処理組合議会定例会	平成27年第2回組合議会定例会提出議案について 専決処分承認を求るることについて、平成26年度ごみ処理事業特別会計補正予算（第4号）、平成27年度ごみ処理事業特別会計補正予算（第1号）、平成26年度歳入歳出決算認定（3会計）、平成27年度補正予算（3会計）	選 出 議 員 選 出 議 員	
		議会広報委員会 議会広報委員会 例月出納検査	議会だより秋号の編集 議会だより秋号の編集 定例検査	選 出 委 員 選 出 委 員 選 出 委 員	
30		公立藤田病院組合議会議員協議会 第3回公立藤田病院組合議会定例会	平成27年第3回定例会提出議案について 副議長の選挙、平成26年度公立藤田病院組合会計決算認定	選 出 議 員 選 出 議 員	全 議 員
		議会全員協議会	宮沢地区農業施設災害現地視察	議 長	
11	9	福島地方水道用供水供給企業団来町 桑折町放射能対策推進町民会議要望活動	企業団事業の概要説明等 環境省、復興庁、東京電力に対し要望書を提出	議 長 正 副 議 長	
		第59回町村議会議長全国大会	全国の町村議会議長による国への要望、決議事項の決定、特別講演等	議 長	
16		議会運営委員会 議会全員協議会	第12回臨時会議事日程等 第12回臨時会議事日程等	選 出 委 員 全 議 員	
		第12回臨時会本会議 産業厚生常任委員会	財産の取得について、閉会中の所管所掌事務調査の申出について 調査事件の今後の進め方	全 議 員 選 出 委 員	
19		総務文教常任委員会	財政の現状と今後について、原発事故に係る損害賠償請求について、児童生徒の学力・体力向上について	選 出 委 員	
25		例月出納検査	定例検査	選 出 委 員	
26		公立藤田病院組合議会研修会	公立藤田病院組合議会議員の研修会	選 出 議 員	
30		議会運営委員会	12月定例会議事日程等について	選 出 委 員	
12	3	桑折町放射能対策推進町民会議講演会	講演「放射能を巡るアレコレ」講師 玄侑 宗久氏	議 長 外	全 議 員
		議会全員協議会 第13回定例会本会議	12月定例会の議事日程等、議案内容の説明 条例制定1件、条例改正3件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件の説明、出資法人経営状況報告	全 議 員 全 議 員	
9		総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会	陳情審査等 所管事務調査等	選 出 委 員 選 出 委 員	
		議会全員協議会 第13回定例会本会議	12月定例会（第2日）議事日程等 一般質問5名	全 議 員 全 議 員	
10		議会全員協議会 第13回定例会本会議	12月定例会（第3日）議事日程等 一般質問2名	全 議 員 全 議 員	
		総務文教常任委員会	陳情審査等	選 出 委 員	
14		議会全員協議会 議会運営委員会 第13回定例会本会議	・12月定例会（第7日）議事日程等 ・追加議事日程等 外 追加議事日程等	全 議 員 選 出 委 員 全 議 員	
		第13回定例会本会議	・条例制定1件、条例改正3件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件審議採決 ・桑折町選挙管理委員及び同補充員の選挙 ・追加議案審議採決（財産の取得1件、陳情1件、意見書1件）	全 議 員	

工事請負契約

多目的スタジオ施設外構工事請負契約

- 1. 契約の目的
多目的スタジオ施設外構工事
- 2. 契約金額
5, 335万2千円
(うち消費税及び地方消費税395万2千円)

- 3. 契約の方法
条件付一般競争入札
- 4. 契約の相手方

住所 字陣屋40番地
氏名 株式会社 近藤組
代表取締役社長 近藤 克成

土砂崩れによる宮沢地区の
農業用水路復旧工事

補正予算

一般会計（第8号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,136万9千円を追加し、予算総額を84億1,147万8千円とするもの。

《歳入》

- ・農業用施設災害復旧費補助金 1,094万9千円
- ・前年度繰越金 572万円
- ・農林施設災害復旧事業債

《歳出》

470万円

- ・農業用排水路災害復旧費 1,864万5千円
- ・有害鳥獣防止柵設置のための資材費等 272万4千円

感謝状が
贈られる

福島県町村議会議長会会長より福島県町村議会議長会の理事として、会務の運営に専心努力され会の発展に貢献された功績により、半澤高議員に「感謝状」と「記念品」が贈られた。



議員辞職についての報告

平井國雄議員から、閉会中の12月19日、議長に辞職願が提出され、12月21日、地方自治法第126条の規定に基づき議長から辞職が許可された。

議案審議結果表

議 案 項 目		議 員 名											
		渡邊英直	岩崎久男	佐藤武朗	齊藤謙	齋藤松夫	佐藤榮三	川名静子	原 賢 志	半澤 高	平井國雄	羽根公平代	片平秀雄
第12回臨時会													
議案第63号 財産の取得について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第13回定例会													
議案第64号 桑折町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例		○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
議案第65号 桑折町税条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第66号 桑折町東日本大震災復興交付金基金条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第67号 桑折町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第68号 平成27年度桑折町一般会計補正予算（第7号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第69号 平成27年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第70号 平成27年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第71号 平成27年度桑折町水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第72号 桑折町災害公営住宅建設用地土地売買契約に伴う財産の取得について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
選挙第9号 桑折町選挙管理委員及び同補充員の選挙		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発委第10号 公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書（案）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第14回臨時会													
議案第73号 桑折町多目的スタジオ施設外構工事請負契約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第74号 平成27年度桑折町一般会計補正予算（第8号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ●：反対 緑：討論者 欠：欠席

一 部 事 務 組 合 議 会 報 告

26年度 概要

■千円未満四捨五入

【伊達地方衛生処理組合】

選出議員 岩崎久男・佐藤榮三

一 般 会 計

歳入総額5,765万 7 千円、歳出総額5,691万 7 千円。当該年度の形式的収支は73万 9 千円の黒字となり、全額を翌年度に繰越した。なお、実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では20万 5 千円の黒字となった。

し尿処理事業

歳入総額 3 億4,390万 3 千円、歳出総額 3 億4,246万 4 千円、当該年度の形式的収支は143万 9 千円の

黒字となり、全額を翌年度に繰越した。なお、実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では10万円の赤字となった。

ごみ処理事業

歳入総額32億9,008万 9 千円、歳出総額32億7,456万 1 千円、当該年度の形式的収支は1,552万 8 千円の黒字となり、全額を翌年度に繰越した。なお、実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では、115万 4 千円の赤字となった。

【公立藤田病院組合】

選出議員 佐藤武朗・羽根田八千代・原 賢志・齋藤松夫

平成26年 4 月に診療報酬が改訂されたことに伴い、新設された地域包括ケア病床入院料を 5 月より算定し、収入アップ確保に努めている。医師不足、看護師不足は依然続いているが、常勤医師数の増減はなかった。研修医も初期研修医 2 年目の 3 名と合わせ 5 名となった。

全職員が積極的に経営改善に取り組んだ結果、57,489千円の黒字計上となり会計制度の変更に伴う特別利益計上の影響もあり純利益についても

713,341千円の大幅な黒字となった。

収益的収支は、総収益54億5,521万円、総費用59億8,072万 1 千円(4.5％)の増となり収支差引 7 億1,334万 1 千円の純利益となった。

資本的収支は、収入総額 1 億8,458万 4 千円、支出総額 5 億3,228万 8 千円、収支差引不足額 3 億4,770万 4 千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

一般会計 単位：千円

歳 入					歳 出				
区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	区 分	予算現額	支出済額	不 用 額	予算対比
分賦金	54,846	54,846	54,846	0	議会費	838	801	37	37
財産収入	1	1	1	0	総務費	56,416	56,116	300	300
繰入金	2,219	2,219	2,219	0	予備費	400	0	400	400
繰越金	534	534	534	0					
諸収入	54	56	56	▲ 2					
合 計	57,654	57,657	57,657	▲ 3	合 計	57,654	56,917	737	737

し尿処理事業特別会計 単位：千円

歳 入					歳 出				
区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	区 分	予算現額	支出済額	不 用 額	予算対比
分 賦 金	280,749	280,749	280,749	0	衛生費	165,137	164,203	934	934
使用料・手数料	96	97	97	▲ 1	基金費	39,611	39,610	1	1
財 産 収 入	34	35	35	▲ 1	公債費	138,652	138,651	1	1
繰 入 金	60,663	60,663	60,663	0	予備費	500	0	500	500
繰 越 金	1,539	1,539	1,539	0					
諸 収 入	819	820	820	▲ 1					
合 計	343,900	343,903	343,903	▲ 3	合 計	343,900	342,464	1,436	1,436

ごみ処理事業特別会計 単位：千円

歳 入					歳 出					
区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予算対比
分 賦 金	275,198	275,198	275,198	0	衛生費	3,204,636	3,198,175	4,590	1,871	6,461
使用料・手数料	138,584	140,501	140,501	▲ 1,917	基金費	40,251	40,250		1	1
国庫支出金	12,940	12,942	12,942	▲ 2	公債費	36,138	36,137		1	1
県 支 出 金	2,732,163	2,732,163	2,732,163	0	予備費	3,000	0		3,000	3,000
財 産 収 入	65,492	69,594	69,594	▲ 4,102						
繰 入 金	12,573	12,573	12,573	0						
繰 越 金	12,091	12,092	12,092	▲ 1						
諸 収 入	34,984	35,278	35,027	▲ 43						
組 合 債										
合 計	3,284,025	3,290,341	3,290,089	▲ 6,064	合 計	3,284,025	3,274,562	4,590	4,873	9,463

収益的収入及び支出 資本的収入及び支出 単位：千円

収 入						収 入					
区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	予算対比	区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	予算対比
病院事業収益	6,217,002	499,121,	6,716,123	6,715,032	▲ 1,091	資本的収入	179,844	4,740	184,584	184,584	0
医 業 収 益	5,570,125	▲ 86,544	5,483,581	5,474,118	▲ 9,462	出 資 金	179,843	▲ 3,866	175,977	175,977	0
医業外収益	407,762	▲ 1,613	406,149	414,521	8,372	国(県)補助金	1	8,606	8,607	8,607	0
特別利益	239,115	587,278	826,393	826,393	▲ 144						
支 出						支 出					
区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	不用額	区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	不用額
病院事業費用	6,124,121	▲ 83,143	6,040,978	5,987,185	53,793	資本的支出	540,729	▲ 7,490	533,239	532,288	951
医 業 費 用	5,810,522	▲ 69,000	5,741,522	5,692,196	49,326	建設改良費	228,861	▲ 10,000	218,861	217,910	951
医業外費用	130,996	▲ 5,598	125,398	122,094	3,304	企業債償還金	311,868	2,510	314,378	314,378	0
病院組合費	2,768	0	2,768	2,352	416						
特別損失	171,290	0	171,290	170,541	748						
予 備 費	8,545	▲ 8,545	0	0	0						

収支差引額不足分 3 億 4,770 万 4 千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

【伊達地方消防組合】

選出議員 渡邊英直・川名静子

平成26年度一般会計の歳入総額は24億12万 9 千円(前年比 6 億6,028万 1 千円、37.95％増)に対し歳出総額は、23億7,615万 8 千円(前年比 6 億6,368

万 6 千円、38.76％増)で歳入歳出差引額は2,397万 1 千円(前年比260万 5 千円、0.098％の減)となった。

単位：千円

歳 入					歳 出				
区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	予算対比	区 分	予算現額	支出済額	不 用 額	予算対比
分担金・負担金	1,430,400	1,430,400	1,430,400	0	議会費	1,258	1,033	225	225
使用料・手数料	1,723	2,028	2,028	▲ 305	総務費	50,476	45,682	4,794	4,794
県 支 出 金	34,242	34,167	34,167	75	消防費	2,293,450	2,278,915	14,535	14,535
財 産 収 入	76	76	76	0	公債費	50,577	50,528	49	49
寄 附 金	500	500	500	0	予備費	4,215	0	4,215	4,215
繰 入 金	0	0	0	0					
繰 越 金	27,375	27,376	27,376	▲ 1					
諸 収 入	13,780	13,875	13,875	▲ 95					
組 合 債	832,200	832,200	832,200	0					
国庫支出金	59,680	59,508	59,508	172					
合 計	2,399,976	2,400,129	2,400,129	▲ 153	合 計	2,399,976	2,376,158	23,818	23,818

イノシシ侵入防止柵 27年度事業実施

議員・各町内会長・関係者合同現地見学会を実施 12/21

今後、モデル事業の検証によりさらに効果の高い事業が実施されることで、上成田を起点にイノシシ侵入防止柵を延長し町全体の被害をくい止めることができるのではと期待する。なお、すでに国見町は桑折町に隣接する泉田地区まで設置が完了している。

また、実施距離の延長による資材の不足等に対し12月28日の臨時会において、新たに2,000m延長を可能にする補正予算が提出され可決した。

町内会長、関係者合同でその作業の実施状況を見学した。困難な作業の箇所も地元住民の協力で実施することができた。

本年、有害鳥獣特にイノシシ被害が拡大し深刻な状況にある。町議会においても平成26年11月の議員研修に先進地である滋賀県大津市に有害鳥獣対策としての防止柵設置状況を視察した。本町でも防止柵設置の必要性を町に求め、27年度2,000mのモデル事業が決定された。

本年度にあつては、上成田町内会を中心に一部松原下町内会とも協力し実施することとなった。議員、各町内会長、関係者合同でその作業の実施状況を見学した。困難な作業の箇所も地元住民の協力で実施することができた。

陸合モデル事業見学



【福島地方水道用水供給企業団】

選出議員 片平秀雄

収益的収支は、水道用水供給事業収益46億3,305万1千円に対し、水道用水供給事業費用44億7,050万6千円で、収支差し引き額1億6,254万5千円が当年度純利益となり、これに前年度繰越欠損金14億5,814万8千円から当年度純利益及びその他未処分利益剰余金を差し引いた残金12億9,506万2千円は、未処理欠損金として翌年度に繰越した。

資本的収支は、資本的収入35万円に対し、資本的支出が19億174万4千円となり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額19億139万4千円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額309万円及び過年度分損益勘定留保資金18億9,830万4千円で補填した。(消費税抜きの金額です。)

収益的収入及び支出

収 入					
区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	予算対比
水道用水供給事業	4,912,136	13,401	4,925,537	4,917,875	▲7,662
営 業 収 益	3,854,783	0	3,854,783	3,845,122	▲9,661
営業外収益	1,057,353	13,401	1,070,754	1,072,752	1,998
支 出					
区 分	当初予算	補正予算	流用増減額	合 計	決算額 不用額
水道用水供給事業	4,890,638	6,954	0	4,897,592	4,745,611 151,981
営 業 費 用	4,164,813	1,344	▲10,111	4,156,046	4,404,165 151,880
営業外費用	711,380	5,610	10,111	727,101	727,100 761
予 備 費	100	0	0	100	0 100
特別損失	14,345	0	0	14,345	14,345 0

資本的収入及び支出

収 入					
区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	予算対比
資本的収入	4,860	▲4,510	350	350	0
負 担 債	4,860	▲4,860	0	0	0
企 業 債	0	350	350	350	0
支 出					
区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	不用額
資本的支出	1,975,896	▲62,696	1,913,200	1,901,744	2,493
建設改良費	197,055	▲62,696	134,359	123,003	2,393
企業債償還金	1,778,741	0	1,778,741	1,778,741	185
予 備 費	100	0	100	0	100

収支差引額不足分 19 億 139 万 4 千円は過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益留保資金で補てんした。

26年度桑折町の一部事務組合への負担金決算額及び 25年度決算額対比表

単位：千円

区 分	内 訳	平成 26 年度 決 算 額	平成 25 年度 決 算 額	増減額	増減率 (%)
伊達地方 衛生処理組合	一般会計	6,302	6,790	▲488	▲7
	し尿処理	23,512	23,339	173	1
	ごみ処理	27,296	34,466	▲7,170	▲21
	合 計	57,110	64,595	▲7,485	▲12
公立藤田 病院組合	一般会計	52,000	52,000	0	0
	特別交付税	14,030	14,741	▲311	▲5
	合 計	66,030	66,741	▲311	▲1
伊達地方 消防組合	一般会計	166,875	167,545	▲670	0
合 計		290,015	298,881	▲8,466	▲3



— 総合司令室が入った新消防施設 —

町の声

◇議会傍聴時に任意で書いていただいたアンケートの中のご意見から(一部抜粋)

9月定例会

- ・傍聴の経験をもっと多くの方に。特に若者、学生に。(60代女)
- ・議員の発言内容が弱い。もう少し強くても良いのでは。(仮置場の件)(70代男)

- ・傍聴者が少ない。来ていただく工夫があっても。(70代男)

- ・町長自ら現場確認をし答弁している。大変良いことだ。(70代男)

12月定例会

- ・的確な答弁に欠け不勉強が目立った。町の現状に対する危機意識をもっと考える必要がある。(70代男)

- ・町のため、議員も頑張っていることがわかった。(70代女)

- ・職員はすべての行動にスピードを持って。答えが遅い。(70代男)

- ・町の未来に対する本気度の議論が全く感じられず残念。(60代男)

- ・初めてなのでためになった。議員も勉強しているのだなあ。(60代男)

新企画

◇いつも「議会だより」をお読みいただきありがとうございます。広報委員会では「よりわかりやすい、伝わる議会だより」を目指し編集しております。さらに今年から、今後の参考にさせていただくため独自にアンケート調査を実施致します。「議会だより」が皆様へ年4回配布された後、議会広報委員が各地区へ伺いますので、御協力よろしくお願い致します。

編集後記

暖冬の中新春の28年を迎え、一年のスタートに思いをはせれば、地球温暖化と気候変動の激しさに驚くことが多い昨今です。穏やかに一年を過ごしたいと願うのは、だれしもが思い、そうありたいと願う。

渡邊 英直

まちの歳時記 ～一足早い春が～



■広報委員会

委員長 川 名 静 子 委員 佐 藤 武 朗
副委員長 渡 邊 英 直 委員 岩 崎 久 男

議会だより

平成28年1月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片 平 秀 雄
編集 桑折町議会広報委員会
電話 (024) 582-2113
印刷 (株)神 尾 印 刷 所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>